

## 就職活動を振り返って 『就職活動は最高の機会』

アイレット株式会社 アジャイル事業部 事業部長  
平野 健介 (E52)



この度は寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。

神戸大学在学中の就職活動の経験を振り返りながら、会社の採用にも関わっている立場からお伝えできることを述べさせていただきます。何か参考になる部分があれば幸いです。

私は電気電子工学専攻で、大学院では情報系の研究を行なって 2006 年 3 月に修士課程を修了しました。同年に KDDI 株式会社に入社し、キャリア決済の ID 基盤の開発などを行いました。

その後、2017 年に KDDI がグループ化したアイレット株式会社に出向し、クラウド事業での開発を行うようになり、2022 年に希望が叶ってアイレット株式会社に正式に入社致しました。現在は、大きな KDDI グループの中にながら、アイレットというベンチャーライクな働き方ができる会社で裁量を持ってスピーディーに働きつつ大きな事業にも関わる、という大手とベンチャーのいいとこどりを楽しんでいます。

在学中は、強い目的意識もなく良い成績でもありませんでしたが、大学 3 年生のときに就職活動をしたみたのが大きな転機となりました。興味本位で行ったテレビ局のセミナーで、業界の華やかさと技術

職の方のみなざる自信とパーソナリティに強い衝撃を覚えました。それまでは就職は夢の終わりで、人生の墓場とまで思っていたので、キラキラと輝くビジネスヒーローのような存在に新たな夢を見ることができました。

私の場合は、試しに受けた面接で自分の不甲斐なさを思い知らされ、心身ともに鍛えようと思い大学院に進学しました。当時は、堀江貴文さんによるフジテレビ買収騒動がニュースになっており、それもあって IT 業界かテレビ業界に入って自分も何か大きなことを成し遂げたい、IT 革命を起こしたい、そんなビジネスヒーローになりたい、という夢を持って就職活動にのぞむことができました。

周囲は、推薦応募で 1 社しか面接を受けられないような学生も多かったのですが、理系の中では多めの 20 社くらいは面接を受けましたし、その倍の説明会は行ったかと思います。学生という立場を使えば、様々な企業を知ることができるチャンスで、ビジネスヒーローのような方ともお会いして刺激を受けられるような非常にいい機会、時期なので、もっと広い視野で様々な企業を見聞きしておけばよかった、と今でも思っています。

終身雇用の時代ではないとはいえ、1 日の起きている時間の半分は費やす仕事を数年は同じ会社でやる、ということを考えると、たくさん見聞きしてご自身にあったおもしろい！と思える仕事を是非本気で探してみたいかがでしょうか？

ビジネスの大海原に 1 人船を漕ぎ出しはじめるような感覚で、探す過程も是非楽しんでいただきたいです。

面接や選考となると、応募も億劫になったり先送りにしたり目を背けたくなることもあるかと思いますが。人生において挫折した回数、フラれた回数がたくさんある方は少ないと思うので、積極的に活動すればするほど、たくさん落ちる可能性のある就職活動というのは気が重くなる面は当然あります。しかし、一発もパンチをもらわずに世界チャンピオンになったボクサーはいません。楽しいビジネスライフ

を送るためには、打たれ強さも身につけながらたくさんパンチをもらっても涼しげな顔で内定を勝ち取るとかっこいいと思いませんか？

ポイントは、改善することです。面接を振り返れば、小さな点でも、もっとこう言えばよかった、こういう準備をしておけばよかった、考え方を変えればよかった、という改善点が何か見つかるはずですよ。それをメモしてどんどん次回に活かしていけば、面接の数だけ強くなり合格率が高まっていきます。何度か経験すれば、自分の中で自信やゆるぎないものが生まれてきて、自分という商品を売り歩く有能な営業マンのような気分になってきます。たとえ技術職であっても、このような営業マインドが身についてきたら、ビジネスの世界に半歩入ったも同然で、学生なりにビジネス意識を持って面接でも会話できるようになるかと思えます。

就職活動は、学業の成績や研究成果だけでは決まりません。人間力も加えたトータルの総合力で評価されます。また、人間力のある方は入社後も大活躍されることが多いです。学生の皆様には就職活動という良い機会を活用して人間力を高め、そして社会の各方面でご活躍いただきたいです。

最後に、就職後の自分の話についても少し書かせていただきます。内定や就職は長い社会人人生におけるあくまでスタートラインとなります。その後、どのようなモチベーションで何を目指して働いていくか？は非常に重要な点です。何に重きを置くかは人それぞれの価値観次第ですが、私の場合は如何に楽しい仕事をしていくか？に重きをおきました。それを実現するために、

- ・地味な内容であっても、仕事を「やらされる」のではなく「自らやる」という考え方、与えられた仕事以外にも周囲に貢献する仕事を「自ら生み出していく」という考え方
- ・社命に身を委ねるだけにはせず、意志を持って自らキャリアを切り拓くという考え方で取り組んできました。

前者の考え方でひたむきに取り組むと、不思議と

良い縁に恵まれたり協力者ができたり、とポジティブな人間関係を築ていくことができました。これがベースとしてあった上で、後者の考え方で自らキャリアプランを描いてそれを目指していくと、中長期では望んでいた姿にかなり近いキャリアを結果的に歩むことができました。

後者のみだと、いわゆる地に足のついていない意識高い系になってしまい、あまり良い結果は生まないと思います。前者で、地道に汗をかいて周囲に貢献していく動きができていくことがベースとして重要かと思えます。

私の場合、キャリアの中で強い信頼関係を築いた元上司がアイレット株式会社に出向することになり、話を聞いている中で将来性や技術力の高さに興味を持ち、自ら希望を出したことで元上司の後を追って出向することとなりました。KDDI とのコネクションを活かしながらベンチャーライクにスピーディーに仕事ができ、やりたいことや新しいことにどんどんチャレンジでき、自分の力を120%発揮できる場に行き着くことができました。

やりたかったことの1つとして、神戸大学の出身研究室との共同研究を立ち上げることができ、3年以上継続させていただいています。これも良い縁のつながりでできていることで、大変感謝しています。

学生の皆様、就職活動とその先の社会人人生、健康には気をつけながら是非楽しんで成長してください。何か1つでも参考になる部分があれば幸いです。OBの1人として応援しております。